



▼/ *▼*/ *▼*/ *▼*/ *▼*/ *▼*/ *▼*/ *▼*/

明日から使える!? 商売繁盛のヒント

サービスコンテンツプランナー 小島章裕

《 vol.39 》

[集客用プランター農園]

栽培から買い取りまでの仕組みが社会貢献

我が家にはいつも両家の実家から新鮮な野菜が届き、美味しくいただいています。うちの息子たちもよく収穫を手伝うせいか、嫌いな野菜はなく、人参も生でガリガリ食べます。さて、各地のイベントに出かけると「野菜の収穫体験」に参加できますが、もっと身近でできないでしょうか？ たとえば、地元のスーパーで。そこで、こんな仕組みを考えてみました。育てることも社会貢献になります。

集客用プランター農園

スーパーで、プランターを使って育てた野菜を収穫するイベントを開催します。参加対象は、小学生以下。参加費は無料。来店した親子連れをターゲットにしています。プランターでは、葉茎菜類、根菜類、豆科野菜類など、さまざまな野菜が作れます。

お母さんと来店した子供は、例えば、プランターでできたサツマイモを1つ手で引っっこ抜き、収穫します。収穫したサツマイモは、土のまま袋に入れて、持ち帰ります。たった1つですが、自分の手で採ったサツマイモは格別で、家でお母さんに料理してもらいます。

この「プランター野菜」ですが、スーパーがある地域の福祉施設や高齢者施設で育ててもらい、スーパーが販促用に買い取る仕組みを構築します。福祉施設や高齢者施設では育てる楽しみを味わってもらい、できた「プランター野菜」

をスーパーに販売します。「プランター」での栽培なら農地がなくても手軽にできます。また、無農薬で育てることもできますので買い取るスーパー側も、参加する親子にとっても嬉しいです。できた野菜を販売しても大したお金にはなりません。販促用で買い取るならそれなりの値段になります。得た収入で栽培用に種や肥料を購入し、来シーズンに向けて栽培します。※買い取りではなく、資材提供でもいいと思います。

スーパーは集客に活かせ、子供たちは収穫体験ができる。地域の福祉施設や高齢者施設は育てる楽しみがあり、必要経費は買い取りでまかなえます。いかがでしょう、こんな仕組みができればユニークです。

*-**

★アイデアコンセプト★

商売の裏に社会貢献

*-**



《アイデアの解説》 体験型となると本格的な施設や場所を想像しますが、こんなアイデアで手軽にできる方法もあります。地方であれば野菜の収穫を経験した子供も多いかもしれませんが、都会であれば陳列棚に並んでいる野菜しかみたことがない子もいるでしょう。自分の手で野菜を獲る。たったこれだけでも非日常でワクワクします。季節ごとに違った野菜を収穫します。実っている様子を観察するだけでも楽しそうですね。また、タネから収穫直前まで育てる過程を施設のお年寄りに協力していただいたら、より楽しみを共有できます。きっと野菜を作っていた方もいらっしゃり、生きがい生まれそうです。

※本コラムの内容は作者の意見です。各人の責任においてご利用ください。本件により生じる損害・トラブル等について、一切責任は負いません。

※本コラムの無断転載を禁じます。